

平成 26 年 度

仙台市下水道事業会計決算説明資料

- 1 決 算 の 概 況
- 2 事 業 実 績 表
- 3 予 算 決 算 比 較 表
- 4 決 算 雨 水 汚 水 内 訳 表
- 5 建 設 改 良 事 業 の 概 要

仙台市建設局

# 1 決算の概況

明治32年に第1期事業として着工した本市下水道事業は、約110年を要して汚水の整備が概ね完了し、生活環境の改善、河川・海域等公共用水域の水質保全に寄与してまいりました。一方、雨水の整備率は10年確率降雨で約33%と低い水準にあり、市街地における浸水防除を目的として整備を着実に進める必要があります。また、下水道施設に甚大な被害をもたらした東日本大震災からの復旧・復興の実現に向けて、事業を着実に推進していくことも求められています。

平成26年度の下水道事業は、「仙台市下水道震災復興推進計画」に基づき、平成27年度末の全面復旧を予定する南蒲生浄化センターをはじめとした被災施設の復旧に引き続き全力で取り組むとともに、適正な維持管理にも努めたほか、本市の復興を支える下水道を構築するために必要となる地震対策や浸水対策などの事業を推進してまいりました。

業務実績につきましては、処理区域面積は、前年度比23ha増の17,347haとなりました。

処理区域内人口は前年度比4,080人増の1,045,360人となり、人口普及率は前年度と同率の99.5%となりました。また、水洗化人口は前年度比5,472人増の1,040,027人となり、水洗化戸数（汚水処理戸数）は前年度比6,475戸増の485,221戸となりました。

年間総処理水量は前年度比273万立方メートル増の1億5,515万立方メートルで、年間有収水量は前年度比13万立方メートル減の1億1,007万立方メートルとなりました。

建設改良費は、前年度からの繰越を含め259億1千9百万円を執行いたしました。

災害復旧事業については、南蒲生浄化センター、落合地区等の管きよの災害復旧工事を実施しました。

地震対策事業については、第3南蒲生幹線工事や中江地区等の合流管耐震化工事（更生工法）等を実施しました。

浸水対策事業については、雨水管きよの整備として原町東部雨水幹線工事等を、ポンプ場の整備として西原雨水ポンプ場建設工事等を実施しました。

汚水処理施設整備事業については、汚水管きよの整備として芋沢幹線工事等を、処理場の整備として南蒲生浄化センター3号汚泥焼却炉建設工事等を実施しました。

合流式下水道改善事業については、諏訪町ポンプ場実施設計業務委託等を実施しました。

公設公管理の浄化槽事業は、平成26年度に新たに46基を設置したほか、既存の合併処理浄化槽を3基引き取り（廃止等3基）、累計で1,322基となりました。

財政状況につきましては、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において、総収益が34億3千万円、総費用が319億2千2百万円で、差引23億8千7百万円の純利益となり、前年度繰越欠損金30億6百万円から差し引いた残額の6億1千9百万円を未処理欠損金として翌年度に繰り越しました。

以上が平成26年度決算の概況でございます。今後も引き続き南蒲生浄化センター等の復旧に全力で取り組んでまいりますとともに、東日本大震災復興交付金を最大限に活用して、東部市街地における大規模な雨水幹線や雨水ポンプ場等雨水排水施設の整備を進めてまいります。また、管路部門に続き、平成27年3月に施設部門でISO55001の認証を取得したアセットマネジメントに基づき、事業の優先順位付けや長期の費用予測を引き続き実施いたしますとともに、維持管理の時代に即した「仙台市下水道マスタープラン」や中期経営計画を平成27年度中に策定することとしておりまして、将来にわたって市民の皆様に安全・安心に暮らしていただける下水道事業の実現に向けて、取り組んでまいります。

## 2 事業実績表

区 分		年 度	単位	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	対前年度比較	
						増減(A)-(B) (△減)	比率(A/B)
普及 状況	(1) 行政区域面積	ha	78,630	78,585	45	100.1	
	(2) 認可区域面積	ha	18,925	18,875	50	100.3	
	(3) 処理区域面積	ha	17,347	17,324	23	100.1	
	(4) 行政区域内人口	人	1,050,296	1,046,192	4,104	100.4	
	(5) 処理区域内人口	人	1,045,360	1,041,280	4,080	100.4	
	(6) 水洗化人口	人	1,040,027	1,034,555	5,472	100.5	
	(7) 水洗化（污水处理）戸数	戸	485,221	478,746	6,475	101.4	
	(8) 人口普及率(5)／(4)×100	%	99.5	99.5	0.0	—	
	(9) 水洗化率(6)／(5)×100	%	99.5	99.4	0.1	—	
処理 状況	(10) 年間総処理水量	千m <sup>3</sup>	155,147	152,414	2,733	101.8	
	(11) 年間污水处理水量	千m <sup>3</sup>	137,953	135,057	2,896	102.1	
	(12) 年間雨水処理水量	千m <sup>3</sup>	17,195	17,357	△ 162	99.1	
	(13) 年間有収水量	千m <sup>3</sup>	110,067	110,195	△ 128	99.9	
	(14) 一日平均処理水量	千m <sup>3</sup>	425	418	7	101.7	
施設 状況	(15) 一日最大処理能力（污水）	千m <sup>3</sup>	445	445	0	100.0	
	(16) 下水管敷設延長	km	4,655	4,645	10	100.2	
	(17) 処理場数	箇所	22	22	0	100.0	
	(18) ポンプ場数	箇所	47	47	0	100.0	
	(19) 浄化槽数	基	1,322	1,276	46	103.6	
(20) 職員数		人	223	227	△ 4	98.2	

### 3 予算決算比較表

#### (1) 収益的収支

(単位 千円)

区 分	平成26年度予算額				平成26年度 決算額 (B)	増 減 (B)-(A) (△減)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	合計(A)		
下水道事業収益	36,468,272	40,000	0	36,508,272	35,568,525	△ 939,747
営業収益	25,301,900	40,000	0	25,341,900	25,277,574	△ 64,326
下水道使用料	17,734,840	40,000	0	17,774,840	17,787,778	12,938
他会計負担金	7,567,060	0	0	7,567,060	7,489,796	△ 77,264
営業外収益	10,675,510	0	0	10,675,510	9,721,912	△ 953,598
受取利息及び 配当金	647	0	0	647	3,024	2,377
他会計補助金	345,008	0	0	345,008	337,930	△ 7,078
国庫補助金	1,284	0	0	1,284	468	△ 816
長期前受金戻入	10,262,689	0	0	10,262,689	9,296,976	△ 965,713
その他営業外収益	65,882	0	0	65,882	83,514	17,632
特別利益	490,862	0	0	490,862	569,039	78,177
下水道事業費用	34,722,304	2,963	0	34,725,267	32,791,885	△ 1,933,382
営業費用	27,225,871	0	0	27,225,871	25,745,375	△ 1,480,496
人件費	1,494,284	0	0	1,494,284	1,438,797	△ 55,487
経費	6,145,579	0	0	6,145,579	5,940,681	△ 204,898
減価償却費等	19,586,008	0	0	19,586,008	18,365,897	△ 1,220,111
営業外費用	5,664,398	2,963	0	5,667,361	5,596,896	△ 70,465
支払利息及び諸費	5,287,833	0	△ 153,087	5,134,746	5,066,741	△ 68,005
消費税及び地方消費税	376,565	2,963	153,087	532,615	530,155	△ 2,460
特別損失	1,782,035	0	0	1,782,035	1,449,614	△ 332,421
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益 (税込み)	1,745,968	37,037	—	1,783,005	2,776,640	993,635
当年度純損益 (税抜き)	1,192,479	37,037	—	1,229,516	2,387,449	1,157,933
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 4,825,847	1,819,278	—	△ 3,006,569	△ 3,006,569	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 3,633,368	1,856,315	—	△ 1,777,053	△ 619,120	1,157,933

(注1) 上記の予算・決算額については消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越欠損金及び未処理欠損金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(注2) 特別損失中、災害により損壊した資産の撤去費用、原状回復費用等に係る損失211,864千円の財源の一部に充てるため、企業債(災害復旧事業債)7,185千円を借り入れた。

## (2) 資本的収支

(単位 千円)

区 分	平成26年度予算額				平成26年度 決算額 (B)	増 減 (B)-(A) (△減)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額	繰越額	合計(A)			
資 本 的 収 入	39,555,328	2,845,363	8,805,486	51,206,177	31,661,505	△ 19,544,672	14,934,350
企 業 債	14,216,700	349,700	3,849,800	18,416,200	11,808,015	△ 6,608,185	5,454,400
国 庫 支 出 金	14,479,084	2,228,758	3,990,801	20,698,643	15,598,263	△ 5,100,380	5,180,330
固定資産売却代金	42,735	0	0	42,735	17,994	△ 24,741	0
他 会 計 負 担 金	8,312,081	258,753	964,885	9,535,719	3,159,048	△ 6,376,671	4,299,620
他 会 計 出 資 金	715,667	8,152	0	723,819	723,819	0	0
負 担 金	8,480	0	0	8,480	10,490	2,010	0
その他資本的収入	1,780,581	0	0	1,780,581	343,876	△ 1,436,705	0
翌年度への繰越工事資金	0	0	0	0	△ 1,950	△ 1,950	0
資 本 的 支 出	50,811,364	2,745,223	9,632,559	63,189,146	43,141,764	△ 20,047,382	16,175,802
建 設 改 良 費	32,957,637	2,745,223	9,632,559	45,335,419	25,918,895	△ 19,416,524	16,175,802
企 業 債 償 還 金	17,817,727	0	0	17,817,727	17,207,837	△ 609,890	0
その他資本的支出	16,000	0	0	16,000	15,032	△ 968	0
予 備 費	20,000	0	0	20,000	0	△ 20,000	0
差 引 額	△ 11,256,036	100,140	△ 827,073	△ 11,982,969	△ 11,482,209	500,760	△ 1,241,452

補 て ん 財 源	17,681,396	37,037	827,073	18,545,506	18,949,821	404,315	1,241,452
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	553,489	0	221,555	775,044	389,190	△ 385,854	495,989
損益勘定留保資金	8,938,963	0	605,518	9,544,481	9,176,717	△ 367,764	745,463
当年度純損益	1,192,479	37,037	0	1,229,516	2,387,449	1,157,933	0
前年度繰越額	6,996,465	0	0	6,996,465	6,996,465	0	0
災害復旧事業債 (営業費用充当分)	13,100	0	0	13,100	7,185	△ 5,915	0
当年度末資金剰余金	6,438,460	137,177	0	6,575,637	7,474,797	899,160	0

(注) 上記の予算・決算額については消費税及び地方消費税込みの額である。

## ○資金不足比率

(単位 千円, %)

資金不足額 (a)	事業規模 (b)	資金不足比率 (a) / (b)
0	24,023,883	—

※事業規模＝営業収益－受託工事収益 (消費税及び地方消費税抜き)

## 4 決算雨水汚水内訳表

(単位 千円)

区 分	平成26年度 決 算 額	雨水分	汚水分 (雨水以外)
下水道事業収益	34,309,383	10,814,744	23,494,639
営業収益	24,023,883	6,428,111	17,595,772
下水道使用料	16,534,087	0	16,534,087
他会計負担金	7,489,796	6,428,111	1,061,685
営業外収益	9,716,470	4,367,599	5,348,871
受取利息及び配当金	3,024	0	3,024
他会計補助金	337,930	0	337,930
国庫補助金	468	0	468
長期前受金戻入	9,296,976	4,367,599	4,929,377
その他営業外収益	78,072	0	78,072
特別利益	569,030	19,034	549,996
下水道事業費用	31,921,934	10,814,744	21,107,190
営業費用	25,310,144	8,866,422	16,443,722
人件費	1,437,323	505,117	932,206
経費	5,506,924	737,596	4,769,328
減価償却費等	18,365,897	7,623,709	10,742,188
営業外費用	5,179,309	1,929,288	3,250,021
支払利息及び諸費	5,066,741	1,871,119	3,195,622
雑支出	112,568	58,169	54,399
特別損失	1,432,481	19,034	1,413,447
当年度純利益 (△純損失)	2,387,449	0	2,387,449

※上記決算額は消費税及び地方消費税抜きの額である。

## 5 建設改良事業の概要

(単位：千円)

	区 分	事業費	主たる事業
公 共 下 水 道 事 業	管 ぎ よ 建 設 費	5,191,587	災害復旧工事 287,686 ・落合地区他污水管災害復旧工事2 等 污水管きよ建設 367,116 ・芋沢幹線工事7外1線 等 雨水管きよ建設 1,861,473 ・原町東部雨水幹線工事1 等 管きよ改築更新・改良 663,987 ・保春院前丁地区外合流管改築工事(更生工法) 等 地震対策 1,942,674 ・第3南蒲生幹線工事1 等 事務費 等 68,651
	ポ ン プ 場 建 設 費	2,480,120	污水ポンプ場建設 19,363 ・八木山東一丁目第三低地区ポンプ場設備工事 等 雨水ポンプ場建設 1,457,506 ・西原雨水ポンプ場建設工事5(土木) 等 ポンプ場等改築更新・改良 840,061 ・鶴巻ポンプ場非常用自家発電設備更新工事 等 地震対策 160,710 ・六丁目ポンプ場耐震補強工事(土木) 事務費 等 2,480
	処 理 場 建 設 費	16,789,677	災害復旧工事 14,691,710 ・南蒲生浄化センター災害復旧建設工事その9 等 処理場改築更新 2,096,283 ・南蒲生浄化センター3号汚泥焼却施設電気設備工 事 等 事務費 等 1,684
排 水 事 業	農 業 集 落 排 水 施 設 建 設 費	194,234	災害復旧工事 185,374 取付管更新工事 等 8,860
事 業	浄 化 槽 建 設 費	98,746	新設工事 等 98,746
道 事 業	地 域 下 水 道 建 設 費	19,423	補修工事 等 19,423
そ の 他	建 設 諸 費 等	1,145,108	人件費 670,041 事務費 等 475,067
	計	25,918,895	

注：消費税及び地方消費税込みの額である。